

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		都市大津地区学校等警察連絡協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島 正剛	
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 佐伯幸治	
	基本事業	62	徳育の推進		所属班	学務指導班	(内線) 2233	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	なし	
	1	10	2・3	1	10639・10640			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)				
							成果優先度評価結果	
							コスト削減優先度評価結果	⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努めるため始まった。非行年齢の低年齢化や子どもを取り巻く地域社会の変化
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	学校と警察との連絡協議会に参加し、お互いの情報交換や研修会を実施し、学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努める。
【業務の流れ】	大津地区学校等警察連絡協議会への参加、負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
学校と警察との連絡協議会に参加し、お互いの情報交換や研修会を実施し、学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努めた。	学校と警察との連絡協議会に参加し、お互いの情報交換や研修会を実施し、学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努める。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 協議会開催回数	回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
学校教職員	⇒ ア 問題行動の発生件数 件 イ 不登校の出現率 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせる。	⇒ ア 問題行動の発生件数 件 イ 不登校の出現率 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	件	360	360	360	307	360	360	
	イ	%							
⑥ 成果指標	ア	件	12	10	8	9	6	6	6
	イ	%	1	1.3	0.7	1.1	0.6	0.6	0.6
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	102	102	104	104	104	104
	(A) 事業費計	千円	102	102	104	104	104	104	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	6	6	6	6	6	6	
	(B)人件費計	千円	24	24	24	24	24	24	
トータルコスト(A)+(B)		千円	126	126	128	128	128	128	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0
	0

事務事業名	郡市大津地区学校等警察連絡協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせた。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持			△		低下		△	△
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持			△																			
	低下		△	△																			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

情報交換や研修会の充実や学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識のさらなる醸成を図っていく